

世界一周 施術の旅

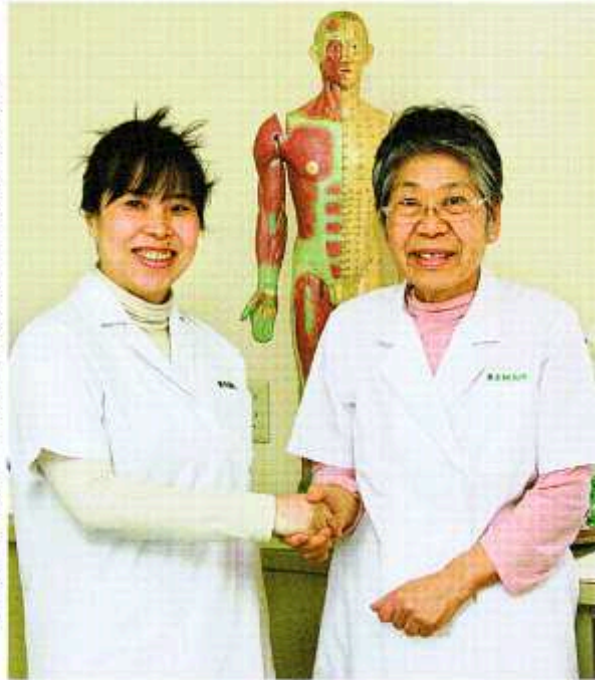
鍼灸師 豪華客船に乗船へ

帯広の天野さん

帯広市内の東方鍼灸(しんきゆう)院(大通南21、吉川正子院長)に3月まで勤めていた鍼灸師の天野弘子さん(40)が、5月から豪華客船に乗船し、乗客に施術しながら世界を巡る旅に出る。同院で学んだ日本鍼灸の神髄を世界のセラブ相手に広めようと意気込んでいる。

来月から7カ月間

「素晴らしさを伝えたい」



鍼灸施術の旅に出る天野さん(左)と激励する吉川院長

天野さんは札幌出身。札幌大学を卒業後、ワーキングホリデー制度を使ってカナダに長期滞在した経験がある。前職の旅行添乗員時代にも各国を訪れた。2009年から東洋鍼灸専門学校(東京)で学び、12年11月から同院で腕を磨いた。

師の存在を専門誌で知り、旅行が好きだったこともあり、旅行が好きな自分もと夢を持っていた。鍼灸師を客船に派遣しているのは、世界中の高級ホテルや客船内でエステなどを展開する英国スタイナー社。現在、160隻と提携してエステ、フットネスクラブ、ネイルサロン、美容室などを

船内では生活費は掛からないものの、給与は完全歩合制。船内で自らセミナーなどを開き、客を開拓するところからが仕事だ。天野さんは「限られた空間なので評判が広がるのも早い反面、悪い噂が広がるのも早い」と気を引き締めながらも、「東方鍼灸院の施術

けという当院の手法を理解できなかったのでは」と話す。その後、天野さんの元に採用通知が届いた。

展開。鍼灸師も100人ほどが活躍しているという。

は、一度受けてもらえば体の変化をすぐに見せられるので、外国の方にも素晴らしさが伝わるはずと自信をのぞかせる。

今年2月に東京で1次面接を受け、その後、米国の鍼灸師からスカイプ(ネット電話)を使って技術面を問われる2次面接を受けた。具体的な症状に対する施術方法を聞かれ、同院で学んだことを答えたところ、面接官が戸惑ったという。吉川院長は「痛いところに針を刺すのではなく、根本の内臓とのつながりを重視して小さい針を置くだ

乗船期間は7カ月。船や航路は決まっていないが、天野さんは「どこでも行ってみたい。ここで学んだ鍼灸をいろいろな国の人に伝えたい」と力を込める。吉川院長は「帯広まで来る外国人は少ないので、うちの治療方法を世界に広めてきて」とエールを送る。

(丹羽恭太)

4月13日付十勝毎日新聞に、当院の研修を終えた天野弘子さんが紹介されました。

世界一周クルーズ船内で、刺さずに置くだけの鍼灸治療法“陰陽太極鍼”を乗客に施術することになりました。多くの外国の人々に鍼(2mmの皮内鍼か王不留行を貼るだけ)を試みて頂けそうで反響が楽しみです。

※記事内訂正 誤:東洋鍼灸専門学校 → 正:東洋鍼灸専門学校